服部新聞　　2021年11月30日　　185号　　発行人　服部雅章

ロシア材の行方

О проведении работы

Уважаемый руководитель!

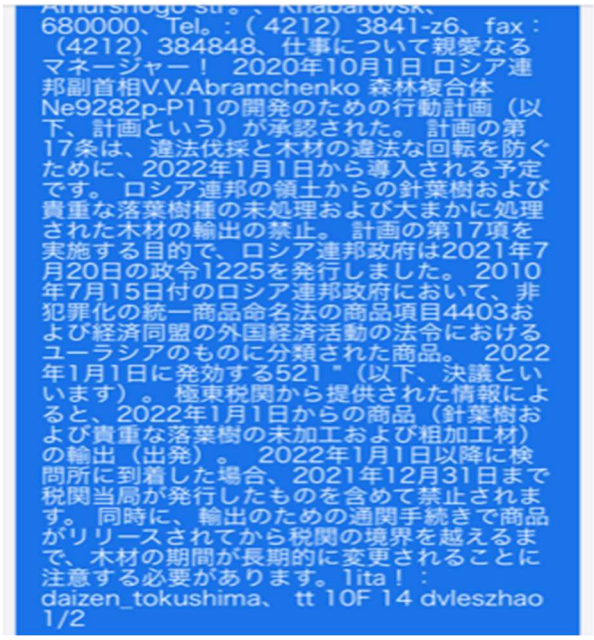
1 октября 2020 г. заместителем Председателя Правительства РФ Абрамченко В.В. утвержден План мероприятий по декриминализации и развитию лесного комплекса № 9282п-П11 (далее – План).

Пунктом 17 Плана в целях предотвращения незаконной заготовки и нелегального оборота древесины предусмотрено введение с 1 января 2022 г. запрета вывоза с территории Российской Федерации необработанных и грубо обработанных лесоматериалов хвойных и ценных лиственных пород.

Для цели реализации пункта 17 Плана издано Постановление Правительство РФ от 20 июля 2021 г. № 1225 «Об определении пунктов пропуска через государственную границу РФ для убытия с территории РФ товаров, классифицируемых в товарной позиции 4403 единой товарной номенклатуры внешнеэкономической деятельности Евразийского экономического союза, и о внесении изменения в Постановление Правительства РФ от 15 июля 2010 г. № 521» (далее – Постановление), которое вступает в законную силу с 1 января 2022 г.

Согласно информации, предоставленной Дальневосточным таможенным управлением, вывоз (убытие) товаров (необработанные и грубо обработанные лесоматериалы хвойных и ценных лиственных пород) с 1 января 2022 г. будет запрещен, в том числе и выпущенных таможенным органом до 31 декабря 2021 г. (включительно), если они прибыли в пункт пропуска после 1 января 2022 г.

При этом необходимо отметить от момента выпуска товара по таможенной процедуре экспорта до момента пересечения таможенной границы проходит длительный период времени и лесоматериалы,



Andrshogo Str.、Khabarovsk、680000、Tel。：（4212）3841-z6、fax：（4212）384848、仕事について親愛なるマネージャー！ 2020年10月1日 ロシア連邦副首相V.V.Abramchenko 森林複合体Ne9282p-P11の開発のための行動計画（以下、計画という）が承認された。 計画の第17条は、違法伐採と木材の違法な回転を防ぐために、2022年1月1日から導入される予定です。 ロシア連邦の領土からの針葉樹および貴重な落葉樹種の未処理および大まかに処理された木材の輸出の禁止。 計画の第17項を実施する目的で、ロシア連邦政府は2021年7月20日の政令1225を発行しました。 2010年7月15日付のロシア連邦政府において、非犯罪化の統一商品命名法の商品項目4403および経済同盟の外国経済活動の法令におけるユーラシアのものに分類された商品。 2022年1月1日に発効する521 "（以下、決議といいます）。 極東税関から提供された情報によると、2022年1月1日からの商品（針葉樹および貴重な落葉樹の未加工および粗加工材）の輸出（出発）。 2022年1月1日以降に検問所に到着した場合、2021年12月31日まで税関当局が発行したものを含めて禁止されます。 同時に、輸出のための通関手続きで商品がリリースされてから税関の境界を越えるまで、木材の期間が長期的に変更されることに注意する必要があります。lita！：daizen_tokushima、 tt 10F 14 dvleszhao 1/2

上記の2枚の写真は2022年1月1日以降輸出禁止になりそうなロシア産広葉樹のネットに有る記事です。記事に掲載している日程で実施されるのか否かはまだまだ解りませんが日本国内の他の情報【2021年11月現在ロシア産広葉樹原木を出品している日本国内の市場は北海道・岐阜県・愛知県の3か所です。】では実施されるのは間違いありません。

2021年からアラスカ産針葉樹原木の伐採が大幅に削減されました。カナダ産針葉樹も伐採が大幅に削減されるとの情報です。世界中で木材資源の供給がタイトになってきているのです。ロシア産広葉樹の入荷が止まると一気に広葉樹原料全体が止まるのでは有りません。一時的に混乱するだけだと考えています。プーチン政権が国内の木材産業の発展の為に原木の輸出から製材品の輸出へと移行する様に計画しています。しかしロシア国内に作られている製材工場の多くが中国資本です。

中国資本の会社はとりあえず製材品云々ではなく、材の確保優先で事を進めています。従って半年も立てば、中国経由でロシア産広葉樹の製材の入荷は有ると思いますし、中国国内の不動産バブルの行方で入荷が早くなる可能性は十二分に有りますが、日本国内の成熟したマーケットに合う商品がすぐに入荷するとは言えませんが、必ず近い将来入荷は有ると思います。特にタモ材の製材品が該当すると服部商店は考えています。しかしナラ材の板はタモより良質材の入荷は時間が掛かると思います。服部商店は以下の様に考えています。

1，現地挽きでは不可能な材の提供を3年間できる手当をしています。

2，国内産広葉樹とアメリカ産でロシア材の埋め合わせは可能だとみています。

やれる事を精一杯します。それが服部商店の本懐だと考えています。

青森産広葉樹

2021 年 11 月 8 日に日帰りで青森県森林組合連合会の第 36 回優良材展示即売会に出掛けてきました。目的は勿論青森県産の広葉樹原木の買い付けですが青森に出掛けるのは 30 数年『服部商店の研修旅行でした。2 泊 3 日の日程で十和田・奥入瀬・八甲田でした。亡き父親も一緒でした』ぶりでした。

現在の弊社は世界中の広葉樹を扱っていますが、昭和 40 年以前は主に東北産の広葉樹原木を扱っていました。岩手県と青森県がホームグラウンドでした。その後主な御客様が碁盤屋さんに移行して北海道産の広葉樹に移り、現在は世界中の広葉樹を扱うようになりました。今回の出張の主目的は青森産と岩手産の違いを把握して 2022 年度以降の仕入れルートをはっきりさせることにより、将来の服部商店の方向性を考える為でした。

昔の青森と岩手の違いはカツラ原木で説明すると、前者が日高産に近く、後者が旭川産に近い傾向が有りましたが、現在のカツラ原木の品質は、北海道・青森・岩手ともに子供達に使って頂ける品質の材では有りません。

（シラタが深く・材質も粘っこく・使いにくい）

クルミとクリは岩手産と同様の品質だと思いますが、他の樹種は岩手産が多少高品質ではと感じました。

岩手県の広葉樹だけでなく青森県産の広葉樹も、北海道旭川の北海道産広葉樹銘木市に出品されているだろうと、現場を見て感じました。

ウッドショックの為に混乱している様に見えますが、木材は石油同等の戦略物資なのです。我々の業界でご飯を食べている者は、SDG s（持続可能な開発目標）を達成する為の普段の努力が必要だと感じました。

針葉樹業界、広葉樹業界、ベニヤ業界、製材業者、外材業界等々木材関係者はお互いの利害関係を乗り越えなくてはやっていけない時代に直面しているのではありませんか。

12 月以降は北海道産が主になります。今回の青森仕入れ・原木の出来栄えは、製材後に服部新聞でご報告します。今後も中身をはっきり吟味してから、より良き材を皆様にご購入頂く為の普段の努力を重ねて参ります。

岩手県産広葉樹

左の写真が先月です。右が今月です。量的には昨年並みに出品されていました。青森は初めてですが岩手県は3シーズン目に入ります。昨年はアメリカ材原木の仕入れを100%見送りました。又ウッドショックが広葉樹には及んでいませんでした。二つの理由で弊社の希望に近い仕入れが出来ましたが、今年はそうではありませんでした。

アメリカ産材の契約をある程度結んだ為に気のゆるみが出たのかもしれませんが、3シーズン目にして最も困惑した結果になりました。予定の買い付け量の3分の1以下になりました。特にブナ材とクルミ材の値上がりが目につきました。ブナ材は東北の業者にクルミ材は名古屋の業者の積極的な仕入れに驚きました。

ブナ材の価格上昇は景気動向『景気が悪くなると白手の木のオファーが多く来る。』を反映してはいないかと思います。クルミ材の高騰はアメリカのブラックウォールナット『アメリカ国内の生産が思うように進んでいない為に高騰しています。』と連動しているのではと思います。

国内産のブナが高騰しています。10年ほど昔はヨーロッパのブナ（ビーチ）原木も相当量日本に輸入されていましたが、現在は製材品が主流になっています。

服部商店がすぐにヨーロッパのブナ原木に取り組みたいと考えても簡単に進まないので、ヨーロッパのブナに精通する仕入れ先にまず情報を取りたいと思います。

広葉樹全般に値上がりが顕著です。そうかと言って広葉樹無垢材をご使用いただく現場に活況が戻るのはまだまだ先『2022年夏以降』だと聞いています。

2022年度夏場以降日本国内でコロナが終息したとしても、世界的なパンデミックがどの程度収まってきたかによって日本国内に活気が戻ってくる時期は大幅に変わると考えています。

今年の岩手県産材の市況、9月～10月は前年並みでした。しかし11月以降は超強含みです。国内の企業間取引の価格上昇・消費者物価上昇と凄く乖離しています。来年度以降価格転嫁をお願いしなければならないと考えていますが、同業他社より高品質な商品をお届けすることには決して妥協しませんので安心してご購入下さい。

北海道産広葉樹

上記左が先月です。右が今月です。下記左が前年です。今シーズンは土場一杯の原木が無いのです。この事を裏付けたのが青森と岩手県の広葉樹市況『異常に暴騰していました。』なのです。

11 月 19 日に北海道旭川にて開催された第４５０回北海道産銘木市売りですが、昨年と比較すると品質・量共に枯渇しているとしか言いようのない状況でした。

我々広葉樹を扱う業界にとって、各お店で特色を出さないと、駄目だと感じました。少ない量を取り合いになって価格が高騰している事は仕方がないですが、価格が上がったから出材が増える事はないかもしれないのです。それくらい北海道の森林は傷ついている可能性が大きいと関係者から話を承っております。今回旭川にて買い付けた数量はこの時期としては最低の４㎥です。

１１月４日に岐阜県にて開催されたロシア産広葉樹の市、１１月１１日に開催された青森県産材の市、１１月１８日に開催された岩手県産の市、１１月１９日に開催された北海道産の市と４つの市に参加してきましたが、もはや過去の事をとやかく言うのは賢い選択では有りません。

服部商店はアメリカ産材の原木と製材品、北海道産広葉樹原木、青森県産広葉樹原木、岩手県産広葉樹原木と最近取り組んでいる国内産針葉樹材の組み合わせで皆様に最高の無垢材の提供をさせて頂きます。

服部雅章からの年末お歳暮感謝セール

　岸田政権の景気対策もいいかもしれませんが服部商店のセールも負けてないと思います。

2021年１２月１日～１２月３１日

お得意先様向けのキャンペーン

毎週先着にて、30,000円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）御買い上げの５名様に、アマゾンギフト券5,000円を差し上げます。

新規のお客様限定のキャンペーンを実施

50,000円（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）以上お買い上げの全員に、アマゾンギフト券10,000円を差し上げます。